

# 決算説明資料

2023年度第2四半期

日本電解株式会社 2023年11月10日

1. 2023年度上期 決算ハイライト
2. 2023年度上期 業績
3. 2023年度通期 業績見通しの修正
4. 参考資料

1. 2023年度上期 決算ハイライト
2. 2023年度上期 業績
3. 2023年度通期 業績見通しの修正
4. 参考資料

# 2023年度上期 決算ハイライト

## 連結業績

売上高  
8,578百万円

前年  
同期比 **-2.3%**

営業利益  
-545百万円

前年  
同期比 **+20百万円**

親会社株主帰属  
四半期純利益

-402百万円

前年  
同期比 **+206百万円**

## 業績概況

車載電池用銅箔	IRA法の影響により日本からの米国向け電池輸出量が減少、そのため一部の国内向け販売が低調
回路基板用銅箔	<ul style="list-style-type: none"><li>・ Denkai America 整流器故障による生産・販売減</li><li>・ 主要顧客の製品における部品構成の変更により受注減</li></ul>

## トピックス

米国カムデン工場 整流器故障	故障した2基のうち1基は7月に復旧、 2基目は11月末を目途に修理完了・復旧予定
米国オーガスタ 新工場	2023年内着工を目指し、資金調達に関して調整中

1. 2023年度上期 決算ハイライト
2. 2023年度上期 業績
3. 2023年度通期 業績見通しの修正
4. 参考資料

# 2023年度上期 業績

- 売上高は、前年同期比2.3%減。Denkai Americaにおける整流器故障の影響等により、回路基板が減少
- 営業利益は、品種構成の改善により赤字幅は減少

(単位：百万円)

	2022年度 上期	2023年度 上期	増減額	前年同期比
売上高	8,775	<b>8,578</b>	▲ 197	▲2.3%
車載電池用銅箔	5,695	<b>6,478</b>	783	13.8%
回路基板用銅箔	3,080	<b>2,100</b>	▲ 980	▲31.8%
営業利益	▲ 565	<b>▲ 545</b>	20	-
経常利益	▲ 583	<b>▲ 147</b>	435	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲ 609	<b>▲ 402</b>	206	-
生産数量 (ト)数)	4,247	<b>4,382</b>	135	3.2%

上記の表は、端数切捨てで統一しております。尚、比率の数値は1円単位で計算しているため、端数処理後の数値とは結果が一致しない場合がございます。また、赤字との比較は増減率(%)の記載を-としております。

# 2023年度上期 損益計算書

(単位：百万円)

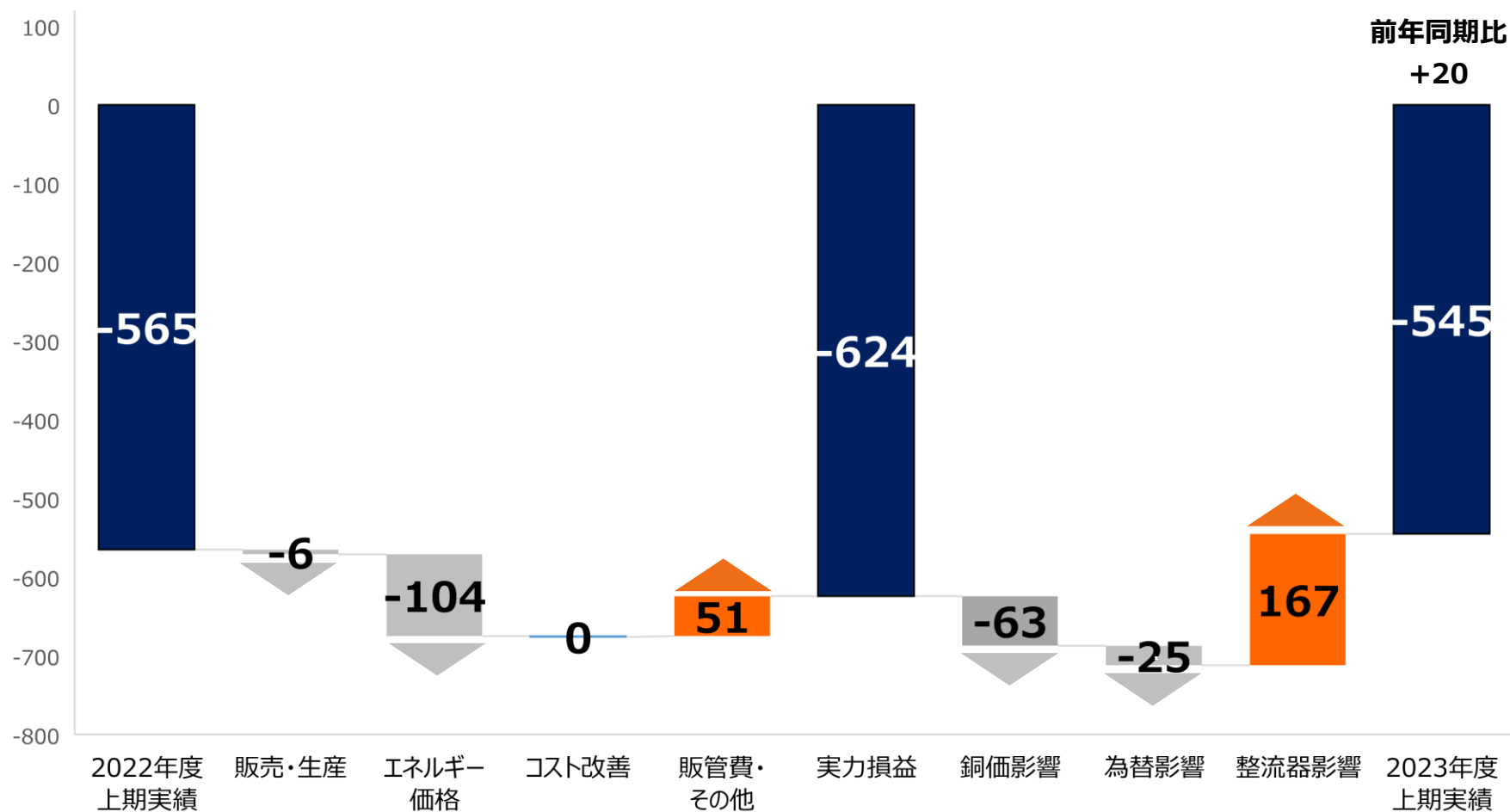
	2022年度 上期	2023年度 上期	増減額	前年同期比
売上高	8,775	<b>8,578</b>	▲ 197	▲2.3%
売上原価	8,679	<b>8,504</b>	▲ 174	▲2.0%
売上総利益	96	<b>73</b>	▲ 23	▲23.8%
売上総利益率 (%)	1.1%	<b>0.9%</b>	-	-
販売費及び一般管理費	662	<b>618</b>	▲ 43	▲6.6%
販管費比率 (%)	7.6%	<b>7.2%</b>	-	-
営業利益	▲ 565	<b>▲ 545</b>	20	-
営業利益率 (%)	▲6.4%	<b>▲6.4%</b>	-	-
減価償却費	617	<b>580</b>	▲ 37	▲6.0%
EBITDA	51	<b>35</b>	▲ 16	▲31.7%
EBITDAマージン (%)	0.6%	<b>0.4%</b>	-	-

上記の表は、端数切捨てで統一しております。尚、比率の数値は1円単位で計算しているため、端数処理後の数値とは結果が一致しない場合がございます。また、赤字との比較は増減率(%)の記載を-としております。

# 営業利益増減分析（前年同期比）

- 整流器故障による特別損失振替が発生
- エネルギー価格高騰・販売減等の影響を、販管費他の改善により悪化軽減

（単位：百万円）





1. 2023年度上期 決算ハイライト
2. 2023年度上期 業績
3. 2023年度通期 業績見通しの修正
4. 参考資料

# 2023年度通期 業績見通し修正（連結ベース）

(単位：百万円)	2023年5月10日 公表見通し (A)	2023年11月10日 公表修正見通し (B)	修正後差額 (B - A)
売上高	20,600	<b>16,900</b>	▲3,700
うち 車載電池用銅箔	14,800	<b>12,700</b>	▲2,100
うち 回路基板用銅箔	5,800	<b>4,200</b>	▲1,600
営業利益	▲600	<b>▲1,000</b>	▲400
経常利益	▲1,100	<b>▲800</b>	300
親会社株主に帰属する当期純利益	▲1,100	<b>▲1,200</b>	▲100
EBITDA	800	<b>200</b>	▲600

## <参考> 2023年度 業績見通しの前提

	5/10発表		11/10発表 修正見通し
生産数量：	10,400トン	→	8,500トン
為替：	130円/ドル	→	145円/ドル
銅相場価格*：	1,250円/Kg	→	1,250円/Kg

# 2023年度業績見通しの主な修正理由と内訳

<b>5月10日 発表見通し 営業利益</b>		<b>▲ 6 億円</b>
変化 影響	Denkai America 整流器故障による生産・販売減	▲ 7 億円
	Denkai America 整流器故障影響 特別損失振替	+ 3 億円
	IRA法の影響による輸出用国内製造電池向け銅箔の販売減	▲ 2 億円
	為替影響	▲ 1 億円
	電力価格	+ 2 億円
	コスト改善・販管費	+ 1 億円
<b>5月10日 発表からの変動要因 計</b>		<b>▲ 4 億円</b>
<b>11月10日 発表見通し 営業利益</b>		<b>▲10 億円</b>

# 2022年度 ➡ 2023年度 通期損益差異（連結ベース）

(単位：百万円)	2022年度 実績	修正見通し	差異 (2022年度→ 2023年度)
売上高	17,047	<b>16,900</b>	▲147
うち 車載電池用銅箔	11,316	<b>12,700</b>	1,384
うち 回路基板用銅箔	5,730	<b>4,200</b>	▲1,530
営業利益	▲1,611	<b>▲1,000</b>	611
経常利益	▲1,840	<b>▲800</b>	1,040
親会社株主に帰属する当期純利益	▲1,933	<b>▲1,200</b>	733
EBITDA	▲371	<b>200</b>	571

＜参考＞	業績見通しの前提	2022年度 実績	11/10発表 修正見通し
	生産数量：	8,520トン	→ 8,500トン
	為替：	135円/ドル	→ 145円/ドル
	銅相場価格*：	1,209円/Kg	→ 1,250円/Kg

# 2022年度 ➡ 2023年度 通期損益差異（連結ベース）

2022年度 営業利益		▲16億円
変化 影響	Denkai America 整流器故障による生産・販売減	▲7億円
	Denkai America 整流器影響 特別損失振替	+3億円
	IRA法の影響による輸出用国内製造電池向け銅箔の販売減	▲2億円
	その他事由による売上・生産増	+9億円
	新規品投入初期費用	▲1億円
	米国オーガスタ新工場建設関連費用	+5億円
	電力価格	+1億円
	銅価影響	▲1億円
	為替影響	▲1億円
2022年度と2023年度の損益差異		+6億円
<b>2023年度11月10日 発表見通し 営業利益</b>		<b>▲10億円</b>

# 2023年度 販売計画進捗

- 顧客の新製造ラインに向け、高容量LIB用銅箔をQ3より供給開始

生産拠点	用途		納入先 販売市場	Q2	Q3	Q4
日本電解	車載電池	LIB	電池メーカー (日本・米国)	● 開始		
		高容量LIB	電池メーカー (日本)	● 開始	● 開始	
	回路基板 (ハイエンド製品)	PCB	基板メーカー (日本)	● 開始		
		PCB	基板メーカー (米国)	● 開始		
Denkai America	車載電池	LIB	電池メーカー (米国)	整流器故障 1台復旧 完全復旧	● 精査中	
	回路基板 (ミドルレンジ製品)	PCB	既存顧客	整流器故障 1台復旧 完全復旧	● 精査中	

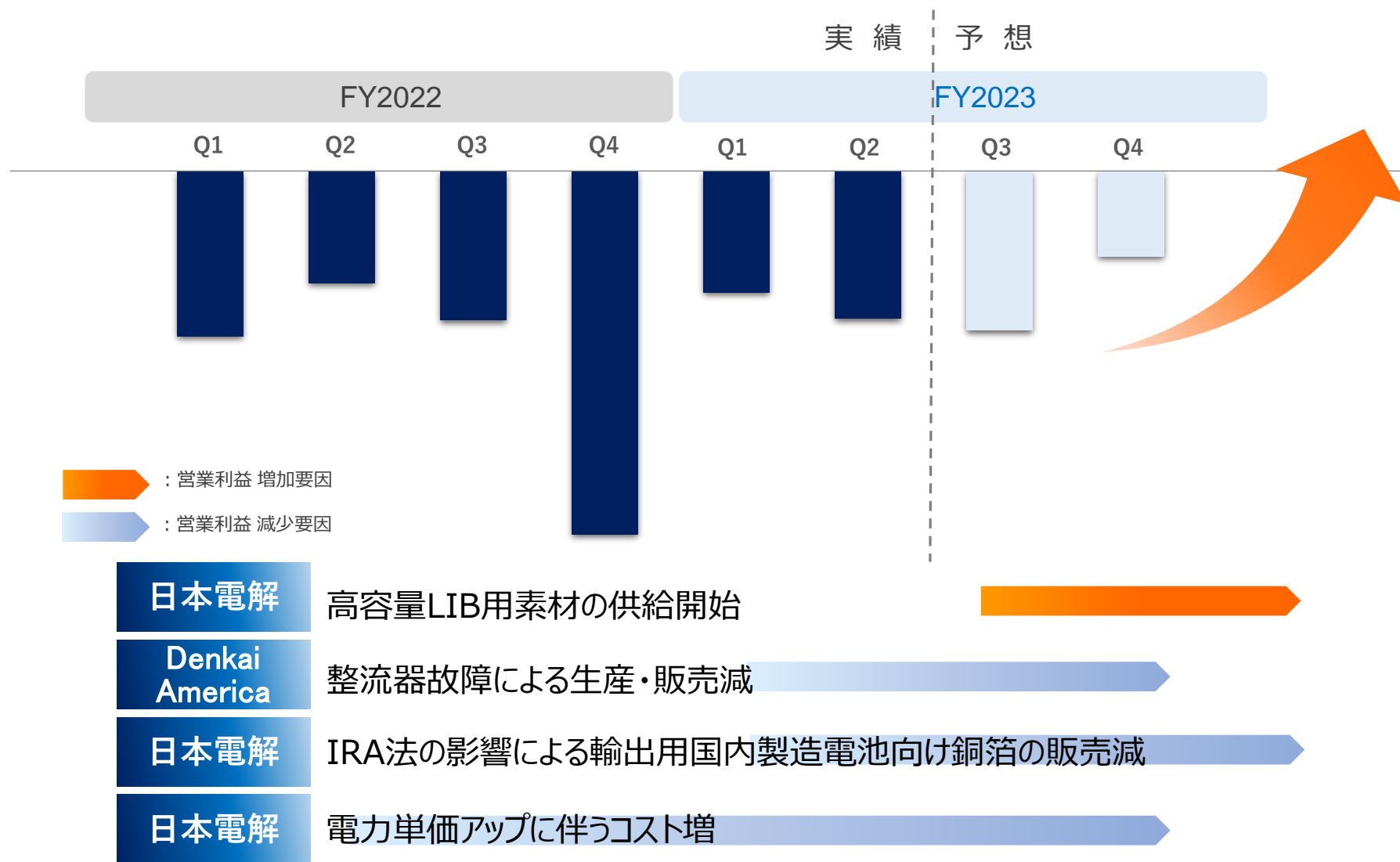
# 2023年度 売上高計画 前提内容の変更点

■ 業績見通しの修正：下期トータルで前回想定（5月公表）を下回る見通し

		2023年5月 時点での想定	減速要因	下期想定に対する 最新の見通し		
				開始済	予定	
日本 電解	車載電池用 銅箔	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存顧客向け受注増加</li> </ul>	Q1 以降	IRA 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存顧客向け拡販</li> </ul>	Q4 以降
		<ul style="list-style-type: none"> <li>高容量LIB用素材供給開始</li> </ul>	Q2 以降			
	回路基板用 銅箔	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内新規顧客販売開始</li> </ul>	Q4 以降		<ul style="list-style-type: none"> <li>国内新規顧客販売開始</li> </ul>	Q4 以降
Denkai America	車載電池用 銅箔	<ul style="list-style-type: none"> <li>製造ライン量産開始</li> </ul>	Q3 以降	整流器故障	<ul style="list-style-type: none"> <li>量産前提サンプル出荷</li> </ul>	Q4 以降
		<ul style="list-style-type: none"> <li>既存顧客向け受注増加</li> </ul>	Q1 以降			
	回路基板用 銅箔				<ul style="list-style-type: none"> <li>既存顧客向け供給再開</li> </ul>	Q2 開始
共通 課題		日本製銅箔の 米国基板メーカー 向け販売拡大	Q1 以降		<ul style="list-style-type: none"> <li>Denkai America代替生産</li> </ul>	Q4 以降
					<ul style="list-style-type: none"> <li>日本製銅箔の 米国基板メーカー 向け販売拡大</li> </ul>	Q1 開始

# 四半期別 営業利益の推移

■ 2023年度4Q 日本電解単体で黒字化目標 → 2024年度 連結黒字化を目指す





# 2023年度 第3四半期 決算発表予定

決算発表予定

2024年2月9日（金曜日）

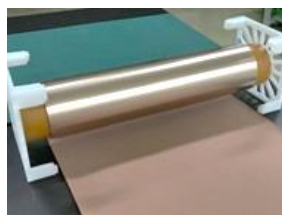
1. 2023年度上期 決算ハイライト
2. 2023年度上期 業績
3. 2023年度通期 業績見通しの修正
4. 参考資料

# 2022年度 製品別売上構成

## 回路基板用銅箔

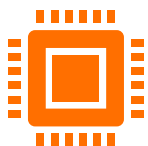
HL・Seed箔

密着性・低損失・高強度



用途

フレキシブルプリント配線板、  
半導体パッケージ基板



主要最終製品



5Gスマートフォン



5G通信  
基地局 等

## 車載電池用銅箔

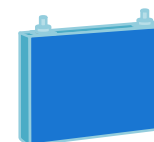
YB箔

高引っ張り強さ、高伸び率



用途

リチウムイオン二次電池 (LIB)



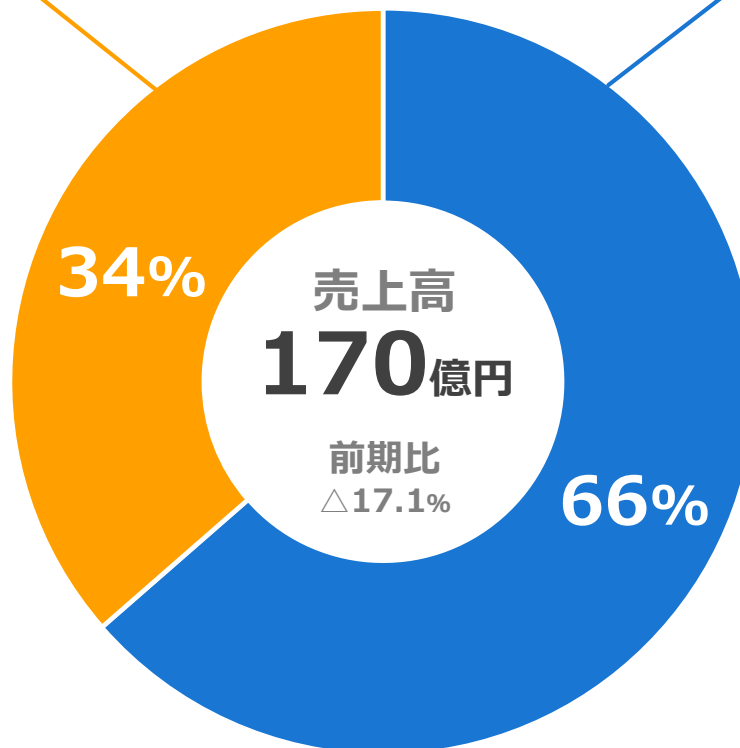
主要最終製品



EV



HV



EBITDA<sup>1</sup> △3億円  
EBITDAマージン △2.2%

<sup>1</sup> EBITDAは、営業利益に減価償却費等を足して算出しております。

# 連結業績推移

(単位：百万円)

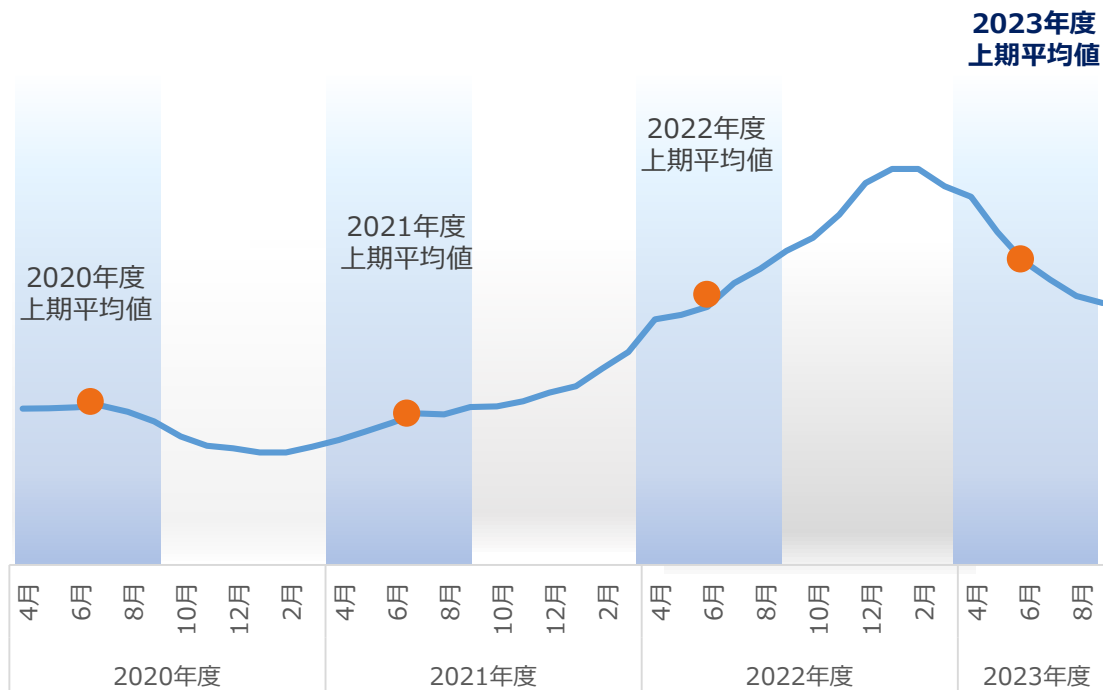
	FY2020	FY2021	FY2022					FY2023		QoQ (c)-(b)	YoY (c)-(a)
	通期	通期	Q1	Q2 (a)	Q3	Q4	通期	Q1 (b)	Q2 (c)		
売上高	14,584	20,558	4,419	4,356	3,941	4,329	17,047	4,759	<b>3,818</b>	▲ 940	▲ 537
車載電池用銅箔	9,272	13,589	2,729	2,965	2,769	2,851	11,316	3,438	<b>3,040</b>	▲ 398	74
回路基板用銅箔	5,312	6,969	1,690	1,390	1,172	1,477	5,730	1,321	<b>778</b>	▲ 542	▲ 611
売上原価	12,863	18,527	4,426	4,252	3,923	4,340	16,943	4,678	<b>3,826</b>	▲ 851	▲ 425
売上総利益	1,721	2,030	▲ 7	103	18	▲ 10	104	81	<b>▲ 7</b>	▲ 88	▲ 111
売上総利益率(%)	11.8%	9.9%	▲0.2%	2.4%	0.5%	▲0.2%	0.6%	1.7%	<b>▲0.2%</b>	-	-
販売費及び一般管理費	1,194	1,025	330	332	322	730	1,715	322	<b>296</b>	▲ 26	▲ 35
販管費比率(%)	8.2%	5.0%	7.5%	7.6%	8.2%	16.9%	10.1%	6.8%	<b>7.8%</b>	-	-
営業利益	527	1,004	▲ 337	▲ 228	▲ 304	▲ 741	▲ 1,611	▲ 241	<b>▲ 303</b>	▲ 62	▲ 75
営業利益率(%)	3.6%	4.9%	▲7.6%	▲5.2%	▲7.7%	▲17.1%	▲9.5%	▲5.1%	<b>▲8.0%</b>	-	-
経常利益	440	976	▲ 318	▲ 264	▲ 471	▲ 784	▲ 1,840	44	<b>▲ 192</b>	▲ 236	72
当期純利益	193	848	▲ 294	▲ 315	▲ 384	▲ 939	▲ 1,933	▲ 22	<b>▲ 380</b>	▲ 358	▲ 65
減価償却費	1,316	1,274	307	310	314	308	1,240	307	<b>273</b>	▲ 34	▲ 37
EBITDA	1,843	2,278	▲ 29	81	9	▲ 432	▲ 371	66	<b>▲ 30</b>	▲ 96	▲ 112
EBITDAマージン(%)	12.6%	11.1%	▲0.7%	1.9%	0.2%	▲10.0%	▲2.2%	1.4%	<b>▲0.8%</b>	-	-
生産数量 (ト)数)	10,058	11,936	2,074	2,172	2,345	1,928	8,520	2,478	<b>1,904</b>	▲ 574	▲ 268

上記の表は、端数切捨てで統一しております。尚、比率の数値は1円単位で計算しているため、端数処理後の数値とは結果が一致しない場合がございます。また、赤字との比較は増減率(%)の記載を-としております。

# 変動要因の推移

## 電力価格推移

- 当社購入電力価格は、ピーク時に比べ多少低下したものの、前年同期比では依然高い水準で推移



## 銅材料価格

- 当社では、銅の相場価格を基準として3か月ごとに販売価格を決定する「銅価スライド制」を採用。銅価格が変動してから販売価格に反映するまでにタイムラグは生じるものの、基本的に販売価格に反映が可能

# サステナビリティの取り組み

## Environment

### xEVの普及で、脱炭素社会の実現へ

当社では、車載電池用銅箔の供給及び高品質化を通じ、車載用リチウムイオン電池とxEVの普及に寄与し、**脱炭素社会、持続可能な社会の実現に貢献します**

取り組みを通じて特に貢献可能なSDGsの目標



### 当社グループの銅材料は、リサイクル銅100%を使用しています

当社グループは、製造過程で発生する銅箔屑もリサイクルしています  
ISO14021:2016の適合について外部認証機関による検証実施済みです

取り組みを通じて特に貢献可能なSDGsの目標



## Social

### 人的資本経営

### 「人の成長 = 企業の成長」を実践します

教育カリキュラムの拡充により人材の成長を図り、中長期的な企業価値向上を目指します

取り組みを通じて特に貢献可能なSDGsの目標



## Governance

### 環境への取り組みの拡充によるガバナンス向上

一例として地球環境改善のため環境管理委員会を充実させ、カーボンフットプリント部会を新設しました

取り組みを通じて特に貢献可能なSDGsの目標



## この資料の取扱について

本資料は、日本電解株式会社及びその連結子会社の企業情報等の提供のみを目的として作成されたものであり、日本、米国、その他の地域における有価証券の販売の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。

本資料には、現在の予定、推定、見込または予測に基づく将来に関する記述が含まれています。この将来に関する記述は、本資料発表日現在において利用可能な情報をもとに、当社経営者が判断した内容に基づいております。将来に関する記述には様々なリスクや不確実性があり、様々な要因の変化等により、この資料に記載の内容またはそこから推測される内容と大きく異なることがありますことをご了承ください。



日本電解株式会社  
Nippon Denkai, LTD.